

栃木県地域枠大学医学部説明会 2026.07.17.



獨協医科大学のご紹介

獨協医科大学

医学教育学講座

教育開発・国際交流センター

地域医療教育部門長

山内 かつ代



学校法人 獨協学園のルーツ

獨逸学協会学校（旧制獨協中学校）（1883年開校）



初代校長：西 周
哲学の父



第2代校長：桂 太郎
内閣総理大臣



第3代校長：加藤弘之
東京帝国大学・初代総長

医学の獨協

- 金杉英五郎（東京慈恵会医科大学初代学長）
 - わが国に耳鼻咽喉科という専門領域を創設
 - 第7代校長
- 額田 豊（東邦大学初代学長）
 - 帝国女子医学専門学校（現・東邦大学医学部）を創設
 - 第11代校長
- 水原秋桜子（水原 豊）
 - 昭和医学専門学校（現・昭和大学）の初代産婦人科教授
 - 「馬酔木」を主宰した俳人



礎はゆるがず
雲雀あがりけり
秋桜子

獨協医科大学開学（1973年）



獨協医科大学 建学の精神・医学部教育理念

建学の精神「学問を通じての人間形成」

• 建学の理念

- 人間性豊かな医師及び看護職者の育成
- 能力の啓発に重点を置く教育方針
- 地域社会の医療センターとしての役割の遂行
- 国際的交流に基づく医学・看護学研究

• 教育理念（医学部）

- 患者及びその家族、医療関係者をはじめ、広く社会一般の人々から信頼される医師の育成。



獨協医科大学は2023年、創立50周年を迎えました



2026年度より
真新しい教室で学
んでいます

自然豊かな勉学環境

キャンパスには木々や花が美しく配置され、四季の移り変わりを楽しむことができ、建物も機能的に配備されています。



5つのディプロマポリシー：卒業認定の方針

医師としてのプロフェッショナルリズム

- 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる

能動的学修能力

- 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる

地域医療の理解

- 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる

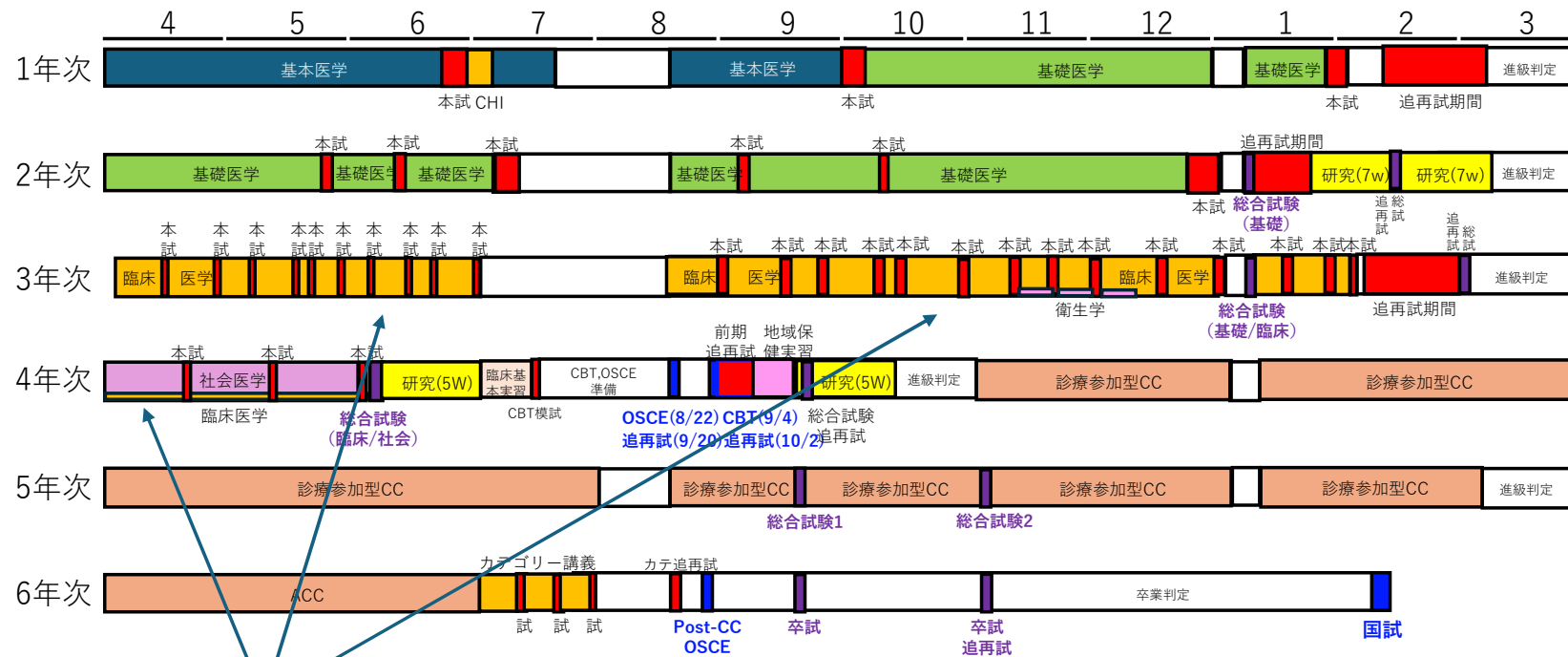
国際性

- 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる

リサーチマインド

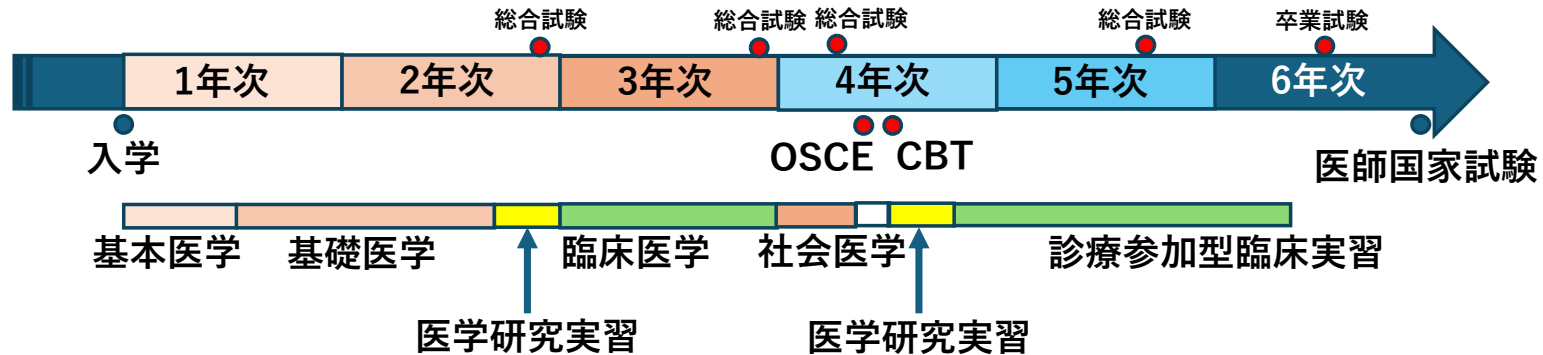
- 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる

令和8年度カリキュラム



3年生、4年生にはブロック制講義を行っている

入学後6年間のスケジュール



進級要件

- ・ 各科目試験で60点以上であること
- ・ 全科目試験の平均が65点以上であること
- ・ 2年次、3年次、4年次、5年次の総合試験に合格すること
- ・ 公的試験であるOSCE、CBTに合格すること
- ・ 真摯な姿勢で各科目実習、診療参加型臨床実習に臨み、合格と評価されること
- ・ 6年次の卒業試験に合格すること

JACMEの国際認証評価（認定2023.10.1）

- ・ 能動的学修の推進
- ・ 診療参加型臨床実習の充実
- ・ リサーチ・マインドの涵養

共用試験CBT, OSCE公的化

- ・ 診療参加型臨床実習の要件

新医学教育モデル・コア・カリキュラム

- 患者・生活者を総合的にみる視点
- プロフェッショナリズム
- リサーチマインド、IT活用
 - ・ R6年度～：本格運用
 - ・ 20年後30年後を見据えたカリキュラム

能動的学修能力の涵養

- 事前学修教材の充実
- 双方向授業
- 反転授業
- プレゼンテーション
- PBL (Problem-Based Learning)
- TBL (Team-Based Learning)

ディプロマポリシー：卒業認定の方針

医師としてのプロフェッショナルリズム

- 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる

能動的学修能力

- 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる

地域医療の理解

- 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる

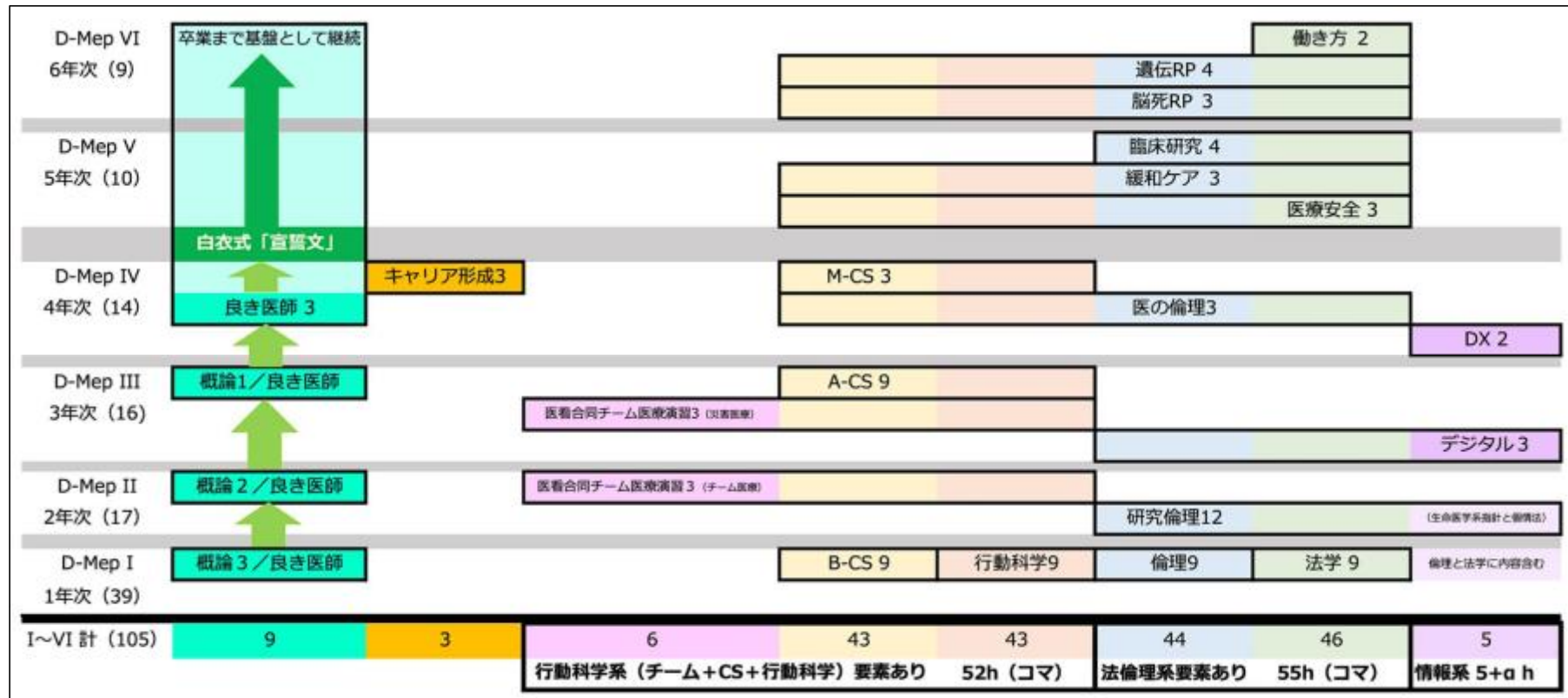
国際性

- 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる

リサーチマインド

- 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる

医師としてのプロフェッショナルリズムを段階的に学ぶ





獨協医科大学
医学部

D-Mep

メディカルプロフェッショナリズム教育

患者さんに寄り添える医師を育てる



「臨床技能」と「プロフェッショナリズム」を体験しながら学ぶ

1 Clinical Skills

実践の力を身につける



医療面接・身体診察
患者さんの気持ちに
寄り添う診察力



VR活用
VRで安全に、繰り返し
実践的に学ぶ



シミュレーション・
ロールプレイで
実践力を強化



2 Communication

対話する力を磨く



傾聴・共感
相手の思いを
受け止める



言葉と表情
適切な表現で
信頼関係を築く



多職種と協働
チームで患者さんを
支える力を育てる

3 Professionalism

医療人としての姿勢を養う



患者さんへの敬意
一人ひとりを
大切にする



倫理・守秘義務
信頼を守る
行動をとる



身だしなみ・態度
医師にふさわしい
振る舞いをする



振り返り・自己改善
気づきを次の
成長につなげる

学び方のヒミツ：経験学習サイクル

1 体験

やってみる



2 振り返り

気づく



3 概念化

まとめる



4 試行

次に活かす



多職種連携教育 (IPE)



医学



薬学



患者さん・ご家族を
中心にしたチーム医療



看護学



リハビリテーション学
(理学・作業・言語)

- ✓ 相互理解・尊重
- ✓ 効果的なコミュニケーション
- ✓ 役割理解と協働
- ✓ チームで最善の医療を提供
- ✓ Professional Identity Formation につなげる

1年生から6年生まで一貫したプロフェッショナリズム教育で、信頼される医師へ

For Patients, With Compassion

白衣式 2025.1.11

参加者

学生：106名、父母：133名、教員：30名



ディプロマポリシー：卒業認定の方針

医師としてのプロフェッショナルリズム

- 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる

能動的学修能力

- 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる

地域医療の理解

- 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる

国際性

- 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる

リサーチマインド

- 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる

獨協医科大学の位置と栃木県の医師分布

- 2次医療圏(保健医療圏)と高齢者福祉圏域は一致
- 在宅医療圏は郡市医師会単位で設定

*** 医師偏在指数 (2019)**
全国平均=255.6

【県西保健医療圏】

- 日光在宅医療圏
- 鹿沼在宅医療圏

【宇都宮保健医療圏】

- 宇都宮在宅医療圏

【両毛保健医療圏】

- 足利在宅医療圏
- 佐野在宅医療圏

【県北保健医療圏】

- 那須在宅医療圏
- 塩谷在宅医療圏
- 南那須在宅医療圏

【県東保健医療圏】

- 芳賀在宅医療圏

【県南保健医療圏】

- 小山在宅医療圏
- 栃木在宅医療圏

獨協医科大学

自治医科大学

* 171.2 ↓

* 207.0

* 345.3 ↑

* 168.1 ↓

* 207.6

* 179.3 ↓

段階的に学ぶカリキュラム

— 地域包括ケアを“学ぶ”から“実践する”へ —

基礎を学ぶ

地域を知る

地域で学ぶ

地域で実践する



地域医療学

地域医療の現状や
地域包括ケアの理念を
学びます。

コミュニティヘルス インターンシップ(CHI)

医学部・看護学部協同で、
地域の医療施設、療養施設の
日常の活動に参加します。

地域包括医療実習 Ⅰ・Ⅱ

診療所や訪問看護、福祉施設
などで、多職種とともに
地域包括ケアを体験します。

地域包括医療実習 Ⅲ・Ⅳ

診療への参加や症例担当など、
より実践的な学習を通して、
実践力を高めます。



ディプロマポリシー：卒業認定の方針

医師としてのプロフェッショナルリズム

- 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる

能動的学修能力

- 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる

地域医療の理解

- 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる

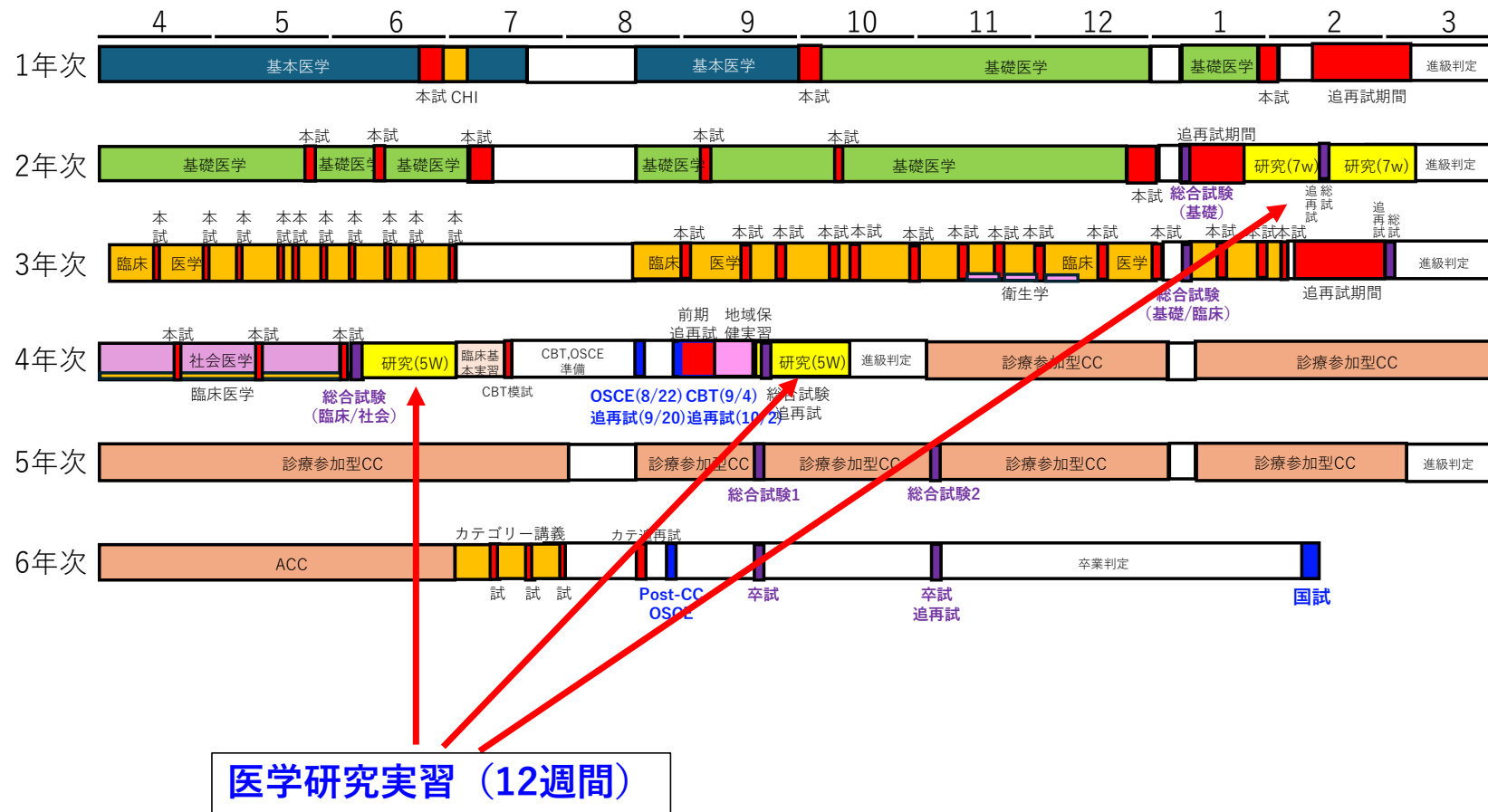
国際性

- 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる

リサーチマインド

- 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる

令和8年度カリキュラム



医学研究実習

令和8年度 医学研究実習(フィールド)担当教員

令和8年4月9日 現在

No.	所属	担当教員	教員数	研究テーマ名	4年	説明資料	説明有無	備考
					受入れ人数	人数	有無	
1	解剖学	徳島隆子、上田祐司、江原勲香、山口剛、橋本真	5	免疫系細胞と神経系細胞の生体での応答	○	4		※2年度に解剖学講座にて医学研究実習を行った学生に際す
2	生理学	神作重司、森本創一朗、高橋俊光、堀島美之	4	脳生理学基幹系：システムコース	○	4	有	
3	生理学	神作重司、森本木羽夫、橋山成美	3	脳生理学基幹系：細胞分子コース	○	4	有	
4	生化学	小西昭夫、伊藤雅彦、堀端康博、佐藤元康、安戸博美、入江和雄、宮崎真穂子	7	老いの生化学	○	10	有	
5	ゲノム科学	小林 久人	1	大規模塩基配列データ・ハイブリッドの習得と臨床・基礎医学研究への応用	○	2	有 有	
6	薬理学	藤田 雅恵	1	抗がん剤の新しい作用機序を探る	○	2	有	
7	薬理学	林 啓太郎	1	アミノ酸によるがん・免疫細胞の増殖抑制の解析	○	2		
8	薬理学	相澤 直樹	1	ラット試験細胞に及ぼす薬物の作用	○	2		
9	薬理学	竹井 元	1	生体研究の基本技術と、精子の成熟化機構の研究への応用	○	2		
10	薬理学	東 寛	1	CRISPR/Cas9を用いたゲノム編集細胞の作製と解析	○	2		
11	薬理学	矢澤卓也、矢澤華子、柏木穂人、石井隆、山本夏美	5	がんに関する最新の分子薬理学研究	○	5	有 有	
12	法医学	藤原 明、村松 尚範、山内 亜	3	法医学研究アドバンスD	○	6		
13	微生物学	宮山 良介	1	R言語を用いたゲノム解析入門	○	2	有 有	
14	公衆衛生学	岡部 美子	1	公衆衛生の視点で考える健康なまちづくり	○	3	有	
15	公衆衛生学	小松 達	1	サイトカインの解析	○	1		
16	公衆衛生学	松原 優里	1	政府統計と疫学研究 子供たちから始めるヘルスリテラシーの向上	○	2	有	
17	公衆衛生学	香山 達夫	1	生活習慣病に関する大規模疫学研究	○	3		
18	公衆衛生学	遠藤 源樹	1	治療と教育の両立支援	○	2	有 有	
19	医学教育学	山内 かづ代	1	臨床教育・地域医療教育の国際比較研究	○	3		
20	化学	黒田 啓之	1	炭素の結晶化の促進と抑制	○	1		
21	先端医科学研究センター-認知・記憶研究室	有紀 雅世希	1	精神疾患の神経回路疾患の探索	○	2	有	
22	先端医科学研究センター-認知・記憶研究室	伊藤 慎行	1	アルツハイマー病モデルマウスにおける場所記憶障害	○	1	有	
23	先端医科学研究センター-分子疾患研究室	小川 寛之	1	分子レベルで解る疾患研究(東洋編)	○	1		
24	先端医科学研究センター-行動神経科学研究室	入江 駿(輔読:平野 晋吾)	1	①内受容器系の神経生理(予備実験) ②認知機能評価(予備検証) ③脳機能マッピング	○	4	有	
25	内科学(消化器)	入澤 雅夫、野村 武史、山崎 勉、堀田 久	4	消化器疾患と内臓癌	○	4		

26	内科学(血液・腫瘍)	今井 隆一	1	血液フローサイトメトリーをマスターしよう	○	5	有 有	
27	内科学(呼吸器・アレルギー)	中村 裕介、仁藤 誠治	2	慢性呼吸器疾患における呼吸器腫瘍と呼吸器癌の診断と治療	○	1	有	希望者には呼吸器内臓器学を案内予定
28	内科学(リウマチ・膠原病)	中村 篤人	1	関節における自己免疫疾患患者の診療実習の検討	○	1		
29	精神神経医学	笠原 典夫	1	精神科研究における臨床科学的アプローチ	○	2		
30	外科(上部消化器)	森田 俊司	1	経皮的胆管置入術に対するConversion Surgeryの適応	○	1		
31	外科(肝・胆・膵)	栗原 雄、白木 孝正、澤本 達也	3	3Dシミュレーションソフトを用いた膵臓再発の検討	○	2	有	
32	脳神経外科	早坂 俊輔	1	脳の手術を3Dで理解する:AR・VRを用いた脳神経シミュレーション	○	3	有	
33	整形外科	高杉 雅彦	1	筋骨格系疾患の診断や手術後ケアに関する基礎データ解析、臨床解析	○	4		受入人数は若干の超過を認める
34	皮膚科学	大井 健、野村 雅彦、早坂 達夫	3	皮膚科学的な研究の手法を体験してみよう!	○	3		希望者は井田先生へメールすること
35	産科婦人科学	工藤 雅	1	産前産後における最新のIT活用と産科医療の検討	○	1		
36	産科婦人科学	成瀬 勝彦	1	産前産後における産科医療の有用性の検討	○	1		
37	産科婦人科学	栗田 美治	1	産前産後における産科医療の有用性の検討	○	1		
38	産科婦人科学	河野 麗子	1	産前産後における産科医療の有用性の検討	○	1		
39	耳鼻咽喉科・口腔外科	中山 次久	1	上気道結核と上気道がんの診断と治療	○	2		
40	救急・集中治療医学	内田 雅彦	1	医学研究におけるオープンアクセス戦略	○	3	有 有	
41	ゲノム科学・臨床検査学	小川 貴彦	1	遺伝子検査の活用と解析	○	5		
42	病理診断学	石田 和之	1	人体画像を探索する	○	4		



充実した臨床実習

第1学年

- コミュニティヘルスインターンシップ(CHI) (地域医療早期体験実習) (1週)
- 早期臨床体験実習 (2日間)
- 外科入門 (2日間)

第3学年

- アドバンスドコミュニティヘルスインターンシップ(ACHI) (1週)

第4学年

- 地域保健実習 (1週)
- 臨床基本実習 (3週)

第5学年

- 診療参加型臨床実習Clinical Clerkship (CC) (60週)
(うち基幹診療科実習 (内科系2週、外科系2週))

第6学年

- 診療参加型臨床実習Advanced Clinical Clerkship (ACC) (12週)

合計79週

診療参加型臨床実習＜外科系プログラム＞

- 動画教材

- 手洗い・ガウンテクニック・縫合ほか

- ルーブリック評価

- 基幹診療科：外科系共通評価表
- 個別診療科：診療科別評価表
- 双方向フィードバック
 - 教員 → 学生
 - 学生 → 教員



きめ細やかな ルーズリック評価

- パフォーマンス評価
- 事前学習（能動的学修）
- 双方向のフィードバック
- 学生の自己評価

① X① 肩関節診察				
肩関節の可動性を評価する		4	4	) 40
肩関節の発赤・熱感を評価する		4	5	
肩関節の徒手筋力の所見をとる		4	5	
インピンジメント試験を評価する		4	5	
② X② 肘関節診察				
肘関節の発赤・熱感を評価する				
肘の内反変形を評価する				
肘関節の可動性を評価する				
肘関節の圧痛の所見をとる				
③ X③ 肩関節診察				
歩容を評価する				
肩関節の可動性を評価する				
Patrick試験の所見をとる				
大腰三角の圧痛の所見をとる				
肩疼痛を評価する				
B. 臨床評価				
① X① 運動準備・筋力低下				
運動準備・筋力低下の程度と病態生機を説明できる				
運動準備・筋力低下をきたす疾患（群）を判別し診断の要点を説明できる				
運動準備・筋力低下のある患者の治療の要点を説明し専門的治療が必要な状況を観察できる				
② X② 肩関節病				
肩骨節痛の原因と病態生機を説明できる				
肩骨節痛をきたす疾患（群）を判別し診断の要点を説明できる				
肩骨節痛のある患者の治療の要点を説明し専門的治療が必要な状況を観察できる				
③ X③ 肩関節・肩胛関節				
肩関節・肩胛関節の原因と病態生機を説明できる		5	5	) 20
肩関節・肩胛関節をきたす疾患（群）を判別し診断の要点を説明できる		5	5	
肩関節・肩胛関節のある患者の治療の要点を説明し専門的治療が必要な状況を観察できる		5	5	
2. 外患実習：臨床評価（25点） *指導医監視のもと全項目		25点	25点	
主訴を聞く				
現病歴・既往歴を聞く		5	5	) 20
整形外科的所見を評価を聞く		5	5	
面接を行うことの了承を得る		5	5	
患者さんによりやすい言葉で会話をする		5	5	
3. 予後・検査・処置：面接操作・基本の手技（25点） *指導医監視のもと全項目				
		25点	25点	
A. 基本手技				
手洗いをこなす		5	5	) 20
ガウンと手袋を装着する		5	5	
消毒をこなす		5	5	
2. 基本的手技				
糸を結紮する		5	5	) 20
皮膚縫合をこなす		5	5	
4. 共通（10点）		10点	10点	
実習生としてのきだしのみ		5	5	
検印・自己紹介・コミュニケーション		5	5	) 20
出題	5	0	0	
H. 評価・手技		0	0	
総合評価		84点	84点	

$$67 + 94 = 161 / 2 = 80.5$$

OCの成績や要望

今年で帰ってきた料は高齢者の
患者さんが増えて、手術後もリハビリ
など大変なわけですが、整形外科
では10代の子が傾斜症のオペを
して治療して、スカーフができるよう
になっていくのを見て、とてもやりがい
を感じました。私も中学生の時に整形
外科でリハビリをしたことがあるのですが、
痛みや変形があって思うように生活を
送れなかった患者さんを見ていく先生方に
とても感謝が湧いてきます。胡橋医に
整形外科で勉強させていた
だきにい
です！
1週間ありがとうございました。

1A	5項目	25点
1B	3項目	15点
2	5項目	25点
3A	5項目	10点
3B	2項目	10点
4	2項目	10点
計	20項目	100点

グループ、氏名、出席等の目数、計算した各点数を必ず記載

最終日医局に持参すること（コピーを預かり、この表は返却）

ディプロマポリシー：卒業認定の方針

医師としてのプロフェッショナルリズム

- 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる

能動的学修能力

- 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる

地域医療の理解

- 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる

国際性

- 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる

リサーチマインド

- 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる

海外研修プログラム

- 第3 / 4 学年（OTP：Overseas Training Programs）（2週間）
 - フィリピン（5名）
 - 国立フィリピン大学、フィリピン保健省
 - サント・トマス大学
- 第5 学年（OTP：Overseas Training Programs）（2週間）
 - ドイツ（8名）
 - ミュンスター大学
 - レーゲンスブルク大学
- 第6 学年（ACC：Advanced Clinical Clerkship）（4週間）
 - ドイツ（数名）
 - ミュンスター大学（2名）

大学が費用負担（1/2程度）



国立フィリピン大学学生と地域診療実習・実践



レーゲンスブルグ大学病院で多職種連携実践



臨床技能演習@ミュンスター大学シミュレーションセンター

教育への学生の参加

学生の意見を教員にフィードバックし、教育の質向上を図るために・・・

- 学生の代表が含まれる委員会
 - 教育企画委員会
 - カリキュラム委員会
 - 教育プログラム評価委員会
 - 学生生活委員会

課外活動（体育会 19）

- アイスホッケー部
- アメリカンフットボール部
- 空手道部
- 水泳部
- 競技スキー部
- ソフトテニス部
- 剣道部
- バスケットボール部
- 硬式テニス部
- バレーボール部
- 硬式野球部
- バドミントン部
- ゴルフ部
- ラグビー部
- サッカー部
- 陸上競技部
- 準硬式野球部
- 柔道部
- 卓球部

体育会活動



課外活動（文化会 15、愛好会 7）

- 管弦楽部
- 合唱部
- 軽音楽部
- 美術部
- 写真部
- 茶道部
- 保健ボランティア部
- 書道部
- テーブルゲーム部
- 競技かるた部
- 診断戦略部

- ME
(Medical Engineering Club)
- ESS
(English Speaking Society)
- Street Dance Association
- DiMSA
(Dokkyo international
Federation of Medical
Student's Associations)

東洋医学研究会
合氣道愛好会
スポーツ愛好会
櫛文庫同好会
自然科学同好会
お笑い研究会HK
小児サークル

文化会活動



学園祭（獨医祭）



能動的学修を支える学修環境

宇都宮市街

敷地面積：358,000m²

東京ドーム7個分

看護学部

看護学部女子学生寮

基礎系研究室

医学部

病院

ヘリポート

臨床系研究室

Hospital Inn
獨協医科大学

研修医宿舎

医学部女子学生寮



創立30周年記念館（アリーナ）



研修会議等（ゆうがお）



医学部女子学生寮



敷地内ホテル



3つの病院

全国でも最大規模の病院群を有する（総ベッド数：**2,322**床）

大学病院(1,195床)



埼玉医療センター（928床）



日光医療センター(199床)



大教室

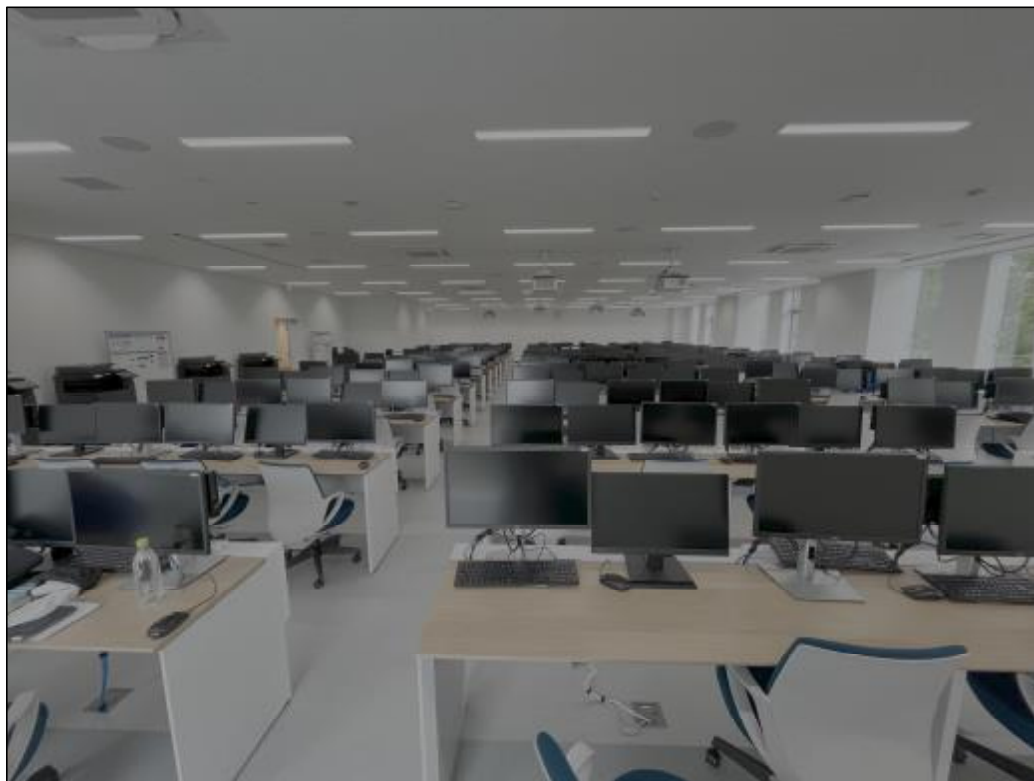


教卓側から



学生側から

PC教室



シミュレーションルーム





図書館のご紹介







教員

令和7年5月1日現在（単位：人）

		学長		副学長		教授		准教授		講師		助教		計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
学長・副学長		1	0	3	1	－							4	1	5	
医学部						103	7	112	13	127	39	455	211	797	270	1,067
看護学部		－				5	3	1	9	2	9	3	8	11	29	40
助産学専攻科						0	1	0	1	0	2	0	0	0	4	4
上記本務 教員の うち (再掲)	大学院 教員	－				104	9	101	17	72	22	2	1	279	49	328
	学外派遣 (休職者含)					0	0	4	0	13	5	112	52	129	57	186
	外国人					1	0	1	0	1	0	3	3	6	3	9

医学部

教員1人あたりの学生数:0.70人

女性教員比率:25.30%

学年担任制

- ・ 勉学・学生生活全般に関する相談・指導
 - ・ 第1学年20名 統括1名、担任14名、副担任5名
 - ・ 第2学年10名
 - ・ 第3学年10名
 - ・ 第4学年 4名
 - ・ 第5学年 4名
 - ・ 第6学年 4名
- ・ 医学部学生支援相談窓口を設置
 - ・ 修学や進路その他日常抱える悩みや困りごとについての相談
 - ・ 学年担任・副担任・教員・保健センター・学生サポーターなどが対応

国家試験サポート委員会

- ・ 委員・教員・学生の連携でサポート

第120回医師国家試験

6年間で卒業しそのまま国試合格

卒業しそのまま国試合格

入試種別	ストレート卒業・国試合格 対象：R2（2020）年度入学者			新卒 対象：R7（2025）年度卒業者		
	対象人数 （入学時人数）	ストレート 卒業 国試合格者	率	対象人数	国試合格	率
指定校推薦	23	19	82.6%	23	21	91.3%
公募推薦	10	8	80.0%	9	9	100.0%
センター利用	15	11	73.3%	14	13	92.9%
一般	58	44	75.9%	53	49	92.5%
栃木県地域枠	10	9	90.0%	9	9	100.0%
総合型（旧 AO）	4	3	75.0%	4	4	100.0%
全体	120	94	78.3%	112	105	93.8%

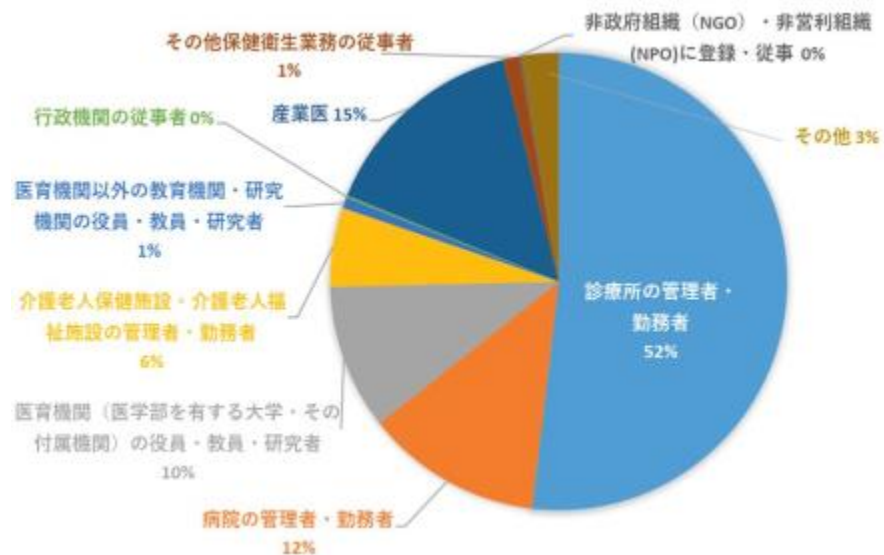
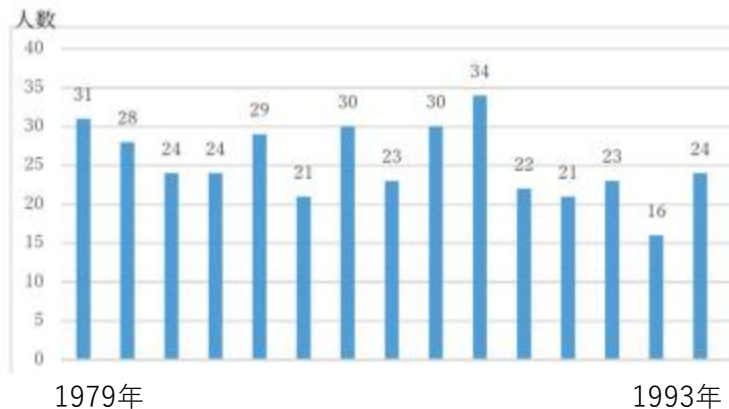
獨協医科大学医学部卒業生の実績

卒業生アンケート

対象：1～15回生（卒業年1979-1993年） 385名・回答率27.9%

卒後29～43年

<卒業年代>



アドミッション・ポリシー：求める入学生像

本学の建学の精神、医学部教育理念、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づいて教育を行うため、次のような基本的な素養を満遍なく備える人を入学生として求めます。

- 医学を学ぶ強い意志を持っている人
- 医学を学ぶ上で必要な基礎学力を有し、計画性を持って学習に臨み、自ら問題を解決する能力のある人
- 理性と常識を備え、社会に貢献する意欲のある人
- 協調性とコミュニケーション能力を持ち、他者の立場になって物事を考え行動できる人
- 国際的視野を持って医学を志す人



皆様の入学を心からお待ちしています。

